

# びわほなみ情報 (R6年産No.2)

令和6年1月24日  
大津・南部農業農村振興事務所  
農産普及課 発行

## 穂肥時期が近づいています！ 後期重点施肥体系では 適期に穂肥を施用しましょう！

### 気象と生育状況

#### 【播種期】

- ・ 11/9まで高温で推移しましたが、11/10を境に気温が大幅に低下し、12月初旬まで低温が続きました。播種期には降雨も複数回ありました。
- ・ 11/10以降に播種された圃場では、低温による発芽遅れや、降雨による播種遅れが生じました。

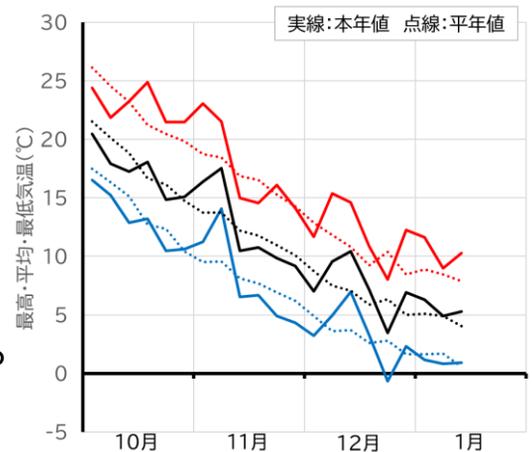


図 気温の推移

#### 【分けつ期】

- ・ 12月上旬以降は1月中旬まで高温傾向で推移しました。
- ・ 気温が高く、**全般的に生育は早まる傾向**にあります。播種時期や圃場の排水性により状況は異なります。
- ・ 適期(11/10~20)よりも**早く播種された圃場**では、特に生育が早まっているため、注意が必要です。

#### 【びわほなみ以外の状況(参考)】

- ・ 10月中に播種されたシロガネコムギやミナミノカオリでは、すでに莖立期(主莖長2cm)を迎えています。
- ・ 圃場ごとに生育状況を確認し、適期に作業を行いましょう。

# 穂肥施用量（後期重点施肥体系）

窒素成分14～18kg/10a

（例：輸入尿素（N46%）30～40kg/10a）

## 【注意点】

- ・ 2回に分けて施肥する場合は、均等に分施します。
- ・ 施用量を増やすと増収が期待できますが、同時に倒伏の危険性も高まります。特に、**施用前の生育が旺盛な場合は**、施用量を**窒素成分で14kg**に減量しましょう。
- ・ 全量基肥肥料を使用している場合は、基本的に穂肥を施用する必要はありません。

# 穂肥施用時期

適期は茎立期（目安は主茎長2cm）

播種時期		茎立期の予想
～11/9		2月上旬～中旬
11/10～20	排水良好圃場	2月中旬～下旬
	排水不良圃場	2月下旬
11/21～		2月下旬～3月上旬



茎立期の麦

## 【注意点】

- ・ **施用時期が遅れると増収効果が低下**するため、適期散布できない場合は、適期より早めて施用しましょう。
- ・ 2回分施の場合は、茎立期の半月前と半月後に施用します。
- ・ 散布にトラクタを使用する場合、茎立期より後に散布すると、走行部分の麦が損傷する可能性があります。